

「元気発進！子どもプラン（第3次計画）」主な取り組みの評価一覧

■ 施策（15）子どもの安全を守る環境整備

施策 番号	柱	取 組 み No.	取 組 み 名	【Plan】計画		【Do】実施					【Check】評価		【Action】改善	決算	担当課			
				事業概要	R2年度の 取り組み計画	R2年度の 主な実績	活動指標	区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度			評価	評価の理由 (分析)	課題とそれを踏まえた今後の方向性
									【現状値】	【目標】	達成率	計画 達成率						
15	1	187	バリアフリーのまちづくりの推進	高齢者や障害者など、誰もが安全で快適に通行できるように、道路・公園のバリアフリー化を行い、バリアフリーのまちづくりを進める。具体的には、歩道の新設や拡幅、段差解消、視覚障害者誘導用ブロックの設置などのバリアフリー化を行う。	特定道路のバリアフリー整備延長0.1km	特定道路のバリアフリー整備を実施	特定道路がバリアフリー化された割合 【現状値】93% (R元年度) 【目標】100% (R6年度)	半年度 目標	94%	96%	98%	99%	100%	順調①	計画的に整備を行ってきており、「順調」と判断。	今後も引き続き、特定道路のバリアフリー化を進める。	防災・安全交付金（交通安全）の一部 単独事業（交通安全）の一部	建設局・道路計画課
15	1	188	安全で歩行者等にもやさしい道路整備	市民生活に密着する生活道路において、地域の要望などを聞きながら、歩道や側溝などの修繕、防護柵の設置等を行い、歩行空間の安全性や快適性、利便性の向上を図る。	市民の生活に密着する生活道路において、要望を受け、道路の維持修繕を実施する。	市民の生活に密着する生活道路において、要望を受け、道路の維持修繕を実施した。	要望に対する対応件数 【現状値】19,418件 (R元年度) 【目標】要望の内容を精査し、対応する。	半年度 目標	-	-	-	-	-	順調①	市民要望の内容を精査し、確実に対応できました。	今後も引き続き、市民要望に対応する。	市民による地域のまちづくり整備事業 他6事業	建設局・道路計画課
15	1	189	家庭内事故防止のためのPR	0歳児を除く子どもの死亡原因のトップである不慮の事故をなくすため、子育てふれあい交流プラザ内に、日常生活空間を再現した「セーフキッズ」を設置し、家庭内の危険箇所や事故の予防方法を紹介する。	子育てふれあい交流プラザにある日常生活空間を再現したコーナーで、事故予防の啓発を行う	子育てふれあい交流プラザの来館者の方々に、ご利用いただき啓発を行えた。	セーフキッズ利用者数(人) 【現状値】9,297人 (R元年度) 【目標】現状維持	半年度 目標	現状維持	現状維持	現状維持	現状維持	現状維持	遅れ	新型コロナウイルス感染拡大防止による影響で来館者が激減したため、「遅れ」の評価となった。	子育てふれあい交流プラザを利用する多くの方々にご利用いただけるよう、PRや啓発を図る。	子どもの館・子育てふれあい交流プラザの運営の一部	子ども家庭局・総務企画課

「元気発進！子どもプラン（第3次計画）」主な取り組みの評価一覧

■ 施策（15）子どもの安全を守る環境整備

		【Plan】計画					【Do】実施					【Check】評価	【Action】改善	決算	担当課		
施策番号	柱	取り組みNo.	取り組み名	事業概要	R2年度の取り組み計画	R2年度の主な実績	活動指標					評価	評価の理由(分析)	課題とそれを踏まえた今後の方向性	予算事務事業名	※大字が評価を記載した課	
							区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度						R6年度
15	1	190	子育て世帯を対象とする家賃割引制度等	北九州市住宅供給公社の賃貸住宅を活用し、子育て世帯支援のための「子育て世帯を対象とする家賃割引制度」や「親族間の近居促進のための家賃割引制度」などを実施する。	①子育て割引・・・新たに入居する子育て世帯に対し、家賃を最大5年間30%（子1人につき10%）割引く制度を実施 ②近居割引・・・市内に親族が居住している場合で、市外から転入し新たに入居する世帯に対し、家賃を最大5年間15%割引く制度を実施	①子育て割引 11戸 ②近居割引 4戸	対象入居戸数(戸)	半年度目標	—	—	—	—	順調①	チラシやホームページにより家賃割引制度の周知を図った。家賃等減額により経済的負担を一定期間軽減することで、有効に機能していると思われる。	・事業の進捗は順調である。チラシ等を通じたPR活動により幅広く周知を行うことで、家賃等減額制度の促進を図っていく。	(予算なし)	建築都市局・住宅計画課（北九州市住宅供給公社）
							【現状値】	半年度実績	15戸								
							【目標】	達成率	—								
								計画目標	—								
15	1	191	多子世帯向け市営住宅への優先入居	多子世帯の居住の安定確保を図るため、市営住宅の定期募集において、多子世帯に対して一般申込枠とは別に申込枠を確保し募集を行う。	多子世帯に対して一般申込枠と別に募集枠を確保することで入居者選考において優先的な取り扱いを行う。多子世帯向け住戸の選定は、間取りや広さを考慮し応募倍率の状況を見極めながら行っていく。	○多子世帯に対して、状況に応じた募集を行った。	多子世帯向け募集住戸数	半年度目標	50戸	50戸	50戸	50戸	順調①	計画に基づいて募集を行うことができた。	多子世帯向けの住宅については、今後も応募状況を考慮しつつ、計画的に募集を行っていく。	(予算なし)	建築都市局・住宅管理課
							【現状値】	半年度実績	50戸								
							【目標】	達成率	100%								
								計画目標	100%								
15	1	192	母子・父子世帯向け市営住宅への優先入居	母子・父子世帯の居住の安定確保を図るため、市営住宅の定期募集において、母子・父子世帯に対して一般申込枠とは別に申込枠を確保し募集を行う。	母子・父子世帯に対して一般申込枠と別に募集枠を確保することで入居者選考において優先的な取り扱いを行う。	○母子・父子世帯に対して、当初の目標以上の住宅を供給した。	母子・父子世帯向け募集住戸数	半年度目標	100戸	100戸	100戸	100戸	大変順調	当初の計画に基づいて、目標以上の募集を行うことができた。	母子・父子世帯向けの住宅については今後も応募状況を考慮しつつ、計画的に募集を行っていく。	(予算なし)	建築都市局・住宅管理課
							【現状値】	半年度実績	170戸								
							【目標】	達成率	170%								
								計画目標	170%								

「元気発進！子どもプラン（第3次計画）」主な取り組みの評価一覧

■ 施策（15）子どもの安全を守る環境整備

		【Plan】計画					【Do】実施					【Check】評価		【Action】改善		決算	担当課
施策番号	柱	取り組みNo.	取り組み名	事業概要	R2年度の取り組み計画	R2年度の主な実績	活動指標					評価	評価の理由(分析)	課題とそれを踏まえた今後の方向性	予算事務事業名	※大字が評価を記載した課	
							区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度						R6年度
15	1	193	住むなら北九州 定住・移住推進の取り組み	本市への定住・移住を推進するため、市外から移住する世帯等に対し、一定の要件を満たす街なかの住宅を取得又は賃借する費用の一部を補助する。	①市外から移住する世帯等に対し、住宅を取得又は賃借する費用の一部を補助する。 ②事業PRのための広報活動を行う。	①一定の要件を満たす方を補助対象者として認定した。 ②専用のホームページや住宅情報誌等を通じて、事業のPRを行った。	賃貸住宅補助世帯数	120世帯	120世帯	120世帯	120世帯	120世帯	順調①	賃貸の実績が目標を下回ったが、賃貸と取得を併せた達成率は97% (214/220) で、全体としては概ね目標どおりである。	賃貸補助は、コロナ禍における地方移住への関心の高まりを踏まえ、テレワーク等で移住する世帯等も対象とした。 取得補助は、親と同居又は近居を目的に転入する子育て世帯等を支援するため、募集枠の拡大及び補助上限額の引き上げを行った。 これらの拡充内容について、関係部局と連携し、総合的にPRを進めていく。	住むなら北九州 定住・移住推進事業	建築都市局・住宅計画課
							【現状値】 114世帯 (R元年度)										
							住宅取得補助世帯数	100世帯	100世帯	100世帯	100世帯	100世帯					
							【現状値】 118世帯 (R元年度)	104世帯									
							【目標】 100世帯 (毎年度)	104.0%									
							達成率	104.0%									
							計画目標	104.0%									
15	2	194	明るく安全なまちづくり街灯整備事業	「街をもっと明るく」という市民要望を受け、夜間の交通安全性の向上を目的に、道路照明灯と防犯灯の中間的な街路灯の整備を実施する。	市民の要望を受け、要件に合致するものについて実施する。	①街路灯整備実施灯数：114灯	街路灯整備実施灯数	—	—	—	—	—	順調①	街路灯の設置は、市民からの要望がある場合で、要件に合致しているものについて実施していることから、整備目標(計画)を設定する性質の事業ではなく、当初計画に対する進捗状況の検証は出来ない。 なお、経済性及び効率性においては、LED灯を採用することで維持管理費の削減を図った。	市民からの要望がある場合で、要件に合致しているものについては、着実に実施していく予定。	道路維持の一部 防災・安全交付金(交通安全)の一部	建設局・道路維持課
							【現状値】 107灯 (R元年度)	114灯									
							【目標】 107灯 (R元年度)	—									
							達成率	—									
							計画目標	—									
15	2	195	交通安全の推進	生涯にわたる交通安全教育および効果的な広報啓発活動により、市民に広く交通安全思想を普及し、交通事故防止を図る。また、自転車利用のルール周知とマナー向上啓発のため自転車交通ルール検定を実施することで、自転車による交通事故の発生を抑制する。	①第9次北九州市交通安全計画(平成28年度～令和2年度)に基づき、各団体・関係者が連携して交通安全対策に取り組むことにより、交通事故発生件数の減少を目指す。	交通事故発生件数：4,450件 ※警察統計のため暦年でカウント	交通事故発生件数(暦年)	現状値比減少	前年比減少	前年比減少	前年比減少	前年比減少	大変順調	令和2年の交通事故発生件数が4,450件と現状値(5,542件)に比べ大幅に減少した。	今後も警察や関係機関・団体等と連携しながら、広報啓発活動や交通安全教育を実施し、交通事故防止に努める。	交通安全推進事業の一部	市民文化スポーツ局・安全・安心都市整備課
							【現状値】 5,542件 (R元年度)	4,450件									
							【目標】 減少	125%									
							達成率	125%									
							計画目標	125%									

「元気発進！子どもプラン（第3次計画）」主な取り組みの評価一覧

■ 施策（15）子どもの安全を守る環境整備

				【Plan】計画	【Do】実施						【Check】評価	【Action】改善	決算	担当課				
施策番号	柱	取り組みNo.	取り組み名	事業概要	R2年度の取り組み計画	R2年度の主な実績	活動指標					評価	評価の理由(分析)	課題とそれを踏まえた今後の方向性	予算事務事業名	※太字が評価を記載した課		
							区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度						R6年度	
15	2	196	未就学児の安全・安心対策	子どもが地域の中で人や自然に触れ、豊かな生活経験を得るために、道路、公園等での安全や防犯対策を関係機関と連携しながら推進する。	①幼稚園、認定こども園、保育所等に、安全管理の徹底について通知を行い、啓発に努める。	施設内外での保育を行う上で十分に防犯対策、安全対策を行った。	配布施設数(施設)	半年度目標	全施設	全施設	全施設	全施設	全施設	順調①	各施設の状況に合わせた防犯対策、安全性対策を行っている。	それぞれの施設の配置、環境、児童や職員数に合わせた安全管理を行っていく。	(予算なし)	子ども家庭局・保育課、幼稚園・こども園課
							【現状値】全施設(313施設)(R元年度)	半年度実績	全施設									
							【目標】現状維持	達成率	100%									
								計画達成率	100%									
15	2	197	通学路の安全対策	登下校中の児童が、安全に安心して通学できる環境を整えるため、さらなる通学路の安全対策を推進する。	通学路の危険箇所における対策	通学路の危険箇所における要望について、内容を精査したうえで、対策を実施。	通学路の危険箇所における対策完了箇所数(箇所)	半年度目標	—	—	—	—	—	順調①	通学路の危険箇所における要望に対して、内容を精査の上、計画的に整備を行ってきており、「順調」と判断。	引き続き、通学路の危険箇所における要望について、安全対策を進める。	防災・安全交付金(交通安全)の一部 単独事業(交通安全)の一部	建設局・道路計画課
							【現状値】96箇所(R元年度)	半年度実績	63箇所									
							【目標】要望の内容を精査し、対応する。	達成率	100%									
								計画達成率	100%									
15	2	198	地域安全マップづくり	市内小学校において、小学生が自分たちの校区を歩き、危険な場所・安全な場所を見つけ、地図にまとめる「地域安全マップづくり」を通じて、防犯意識や危険回避能力の向上を図る。	地域安全マップづくりの実施(小学校計7校)	1校で実施	地域安全マップづくり開催校数(校)	半年度目標	7校	7校	7校	7校	7校	遅れ	新型コロナウイルス感染症拡大の影響によりマップづくりを本市主導で実施できなかったため。	【課題】 ・マップづくりの際に三密となるため実施が難しい。 【今後の方向性】 ・小中学校において犯罪機会論に関するセミナーを感染症対策を講じて実施することで、児童生徒の防犯意識や危険回避能力の向上を図る。	子どもと女性の「防犯力アップ」事業の一部	市民文化スポーツ局・安全・安心推進課
							【現状値】7校(R元年度)	半年度実績	1校									
							【目標】毎年7校	達成率	14%									
								計画達成率	14%									

「元気発進！子どもプラン（第3次計画）」主な取り組みの評価一覧

■ 施策（15）子どもの安全を守る環境整備

【Plan】計画				【Do】実施						【Check】評価	【Action】改善	決算	担当課				
施策番号	柱	取り組みNo.	取り組み名	事業概要	R2年度の取り組み計画	R2年度の主な実績	活動指標					評価	評価の理由(分析)	課題とそれを踏まえた今後の方向性	予算事務事業名	※太字が評価を記載した課	
							区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度						R6年度
15	2	199	生活安全パトロール隊の支援	地域の自主防犯組織である「生活安全パトロール隊」への人的・物的支援等を通じて、地域の自主防犯活動の活発化を図る。	①安全・安心指導員による支援 ②生活安全パトロール隊の活動に必要な物品の支援 ③生活安全パトロール隊とパトランなどの自主防犯団体との連携促進	地域の要望、実情を踏まえながら①～③を実施した。	防犯パトロール参加者数(人) 【現状値】	半年度目標	現状値比増加	前年度比増加	前年度比増加	前年度比増加	60,000人	順調①	安全・安心推進員の企業訪問により「ながら見守り活動宣言企業」の増加を図るとともに、生活安全パトロール隊や学生ボランティア、「パトランキタキュー」などの自主防犯活動団体への支援を通じて「地域を見守る目」を増やしていく。	生活安全パトロール隊活動支援事業 地域防犯対策事業の一部	市民文化スポーツ局・安全・安心推進課
							【現状値】	半年度実績	45,087人								
							【目標】	達成率	118%								
							計画目標	達成率	75%								
15	2	200	子ども防犯セミナーの開催	市内の小中学生を対象とした「体験型」のセミナーを開催することによって、子どもの危機回避能力の向上を図る。	安全セミナーの実施(小・中学校 計14回)	安全セミナーを小・中学校で計14回実施した。	安全セミナー開催回数(回) 【現状値】	半年度目標	14回	14回	14回	14回	14回	順調①	目標回数を達成したため。	子どもと女性の「防犯力アップ」事業の一部	市民文化スポーツ局・安全・安心推進課
							【現状値】	半年度実績	14回								
							【目標】	達成率	100%								
							計画目標	達成率	100%								
15	2	201	ガーディアン・エンジェルスセイフティ・センター運営支援事業	繁華街の防犯パトロールや非行防止活動等に取組む「NPO法人日本ガーディアン・エンジェルス北九州支部」の活動を支援することにより、地域安全の向上を図る。	「日本ガーディアンエンジェルス」の青少年健全育成のための拠点である「セイフティ・センター」の運営を支援する。	「日本ガーディアンエンジェルス」の青少年健全育成のための拠点である「セイフティ・センター」の運営を支援した。	街頭パトロールの実施 【現状値】	半年度目標	実施	実施	実施	実施	実施	順調①	予定通り実施できており、市民からもセイフティ・センターの活動は高く評価されている。	地域防犯対策事業の一部	市民文化スポーツ局・安全・安心推進課
							【現状値】	半年度実績	実施								
							【目標】	達成率	100%								
							計画目標	達成率	100%								

「元気発進！子どもプラン（第3次計画）」主な取り組みの評価一覧

■ 施策（15）子どもの安全を守る環境整備

		【Plan】計画					【Do】実施					【Check】評価		【Action】改善		決算	担当課	
施策番号	柱	取り組みNo.	取り組み名	事業概要	R2年度の取り組み計画	R2年度の主な実績	活動指標					評価	評価の理由(分析)	課題とそれを踏まえた今後の方向性	予算事務事業名	※太字が評価を記載した課		
							区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度						R6年度	
15	2	202	児童見守り消防隊	児童が登下校時に犯罪に巻き込まれないよう、教育委員会及び各関係機関と連携し、地域における安全確保のため「児童見守りパトロール」を実施する。	児童の登下校時間帯に消防車両で通学路を巡回したり、消防署々の前で見守りを行ったりする。	市内全小学校区でパトロールを実施(1,477回)	パトロール回数(回)	半年目標	3,150回	3,150回	3,150回	3,150回	3,150回	やや遅れ	新型コロナウイルス感染症のため、休校期間や外出自粛などで児童見守りの機会が減少した。	消防車両によるパトロールを実施することで、犯罪の抑止及び、地域住民と連携した安心安全の確保ができるため、今後同様の内容について継続していく。	(予算なし)	消防局・予防課
							【現状値】	半年実績	2,044回(R元年度)	1,477回								
							【目標】	達成率	3,150回	46.9%								
							計画目標	達成率	46.9%									
15	2	203	「消防士さんといっしょ」事業	消防職員が小学校に向き、社会科教育の一環である「消防のしごと」の授業を行うことにより、児童への防火・防災教育の充実を図る。	市内全ての小学校(ただし、特別支援学校及び複式学級等を除く)への実施	・対象131校のうち、129校で実施	対象校の年間実施率	半年目標	現状値と同水準	前年度比同水準	前年度比同水準	前年度比同水準	前年度比同水準	順調①	・実施校の授業に対する評価は高く、今後も事業の継続を希望しているため。	可能な限り対象となる全児童に対し本事業を実施し、児童への防火・防災教育の充実を図る。	予防行政の一部	消防局・予防課
							【現状値】	半年実績	100%(R元年度)	129校								
							【目標】	達成率	現状維持	98.5%								
							計画目標	達成率	98.5%									
15	2	204	防災・減災教育の推進	児童・生徒が、日常生活の安全確保のために必要な事項を実践的に理解するとともに、自他の生命尊重を基盤として進んで安全で安心な社会づくりに参加し、貢献できる資質や能力を培うため、学校において支援や指導などの取り組みを推進する。	①各学校における防災避難訓練の実施 ②危機管理マニュアルの点検・見直し ③通学路の安全確保の推進	①100% ②100% ③100%	各校の実情に応じた避難訓練を学期に1回以上実施した学校の割合	半年目標	小：100% 中：100%	小：100% 中：100%	小：100% 中：100%	小：100% 中：100%	小：100% 中：100%	順調①	・全校・園において、学期に1回以上(年3回以上)防災避難訓練が実施されている。 ・学校安全管理職研修会を通じて、校区における災害リスクの確認、危機管理マニュアル、通学路安全マップの点検・見直しについて研修を行った。 ・登下校中の見守りについては、地域、PTA、スクールヘルパー等と連携して実施することができている。 ・以上から「順調」とした。	・災害時に有効な備えとなるよう、継続して危機管理マニュアルの点検・見直しを行い、学校の状況をより正確に反映させた内容とする必要がある。 ・通学路の安全点検も継続して行うとともに、学校、保護者、地域が通学路の状況を共通認識し、防犯、交通の両面で、安全な通学路が維持されるよう取り組んでいく。 ・防災については、各学校において防災・減災教育の推進を図ることを目的にモデル校を設定し、取組を全市に広げていく必要がある。	防災減災教育推進事業	教育委員会・生徒指導・教育相談課
							【現状値】	半年実績	小：100% 中：100%	小：100% 中：100%	小：100% 中：100%	小：100% 中：100%						
							【目標】	達成率	小：100% 中：100%	小：100% 中：100%	小：100% 中：100%	小：100% 中：100%						
							計画目標	達成率	小：100% 中：100%	小：100% 中：100%	小：100% 中：100%	小：100% 中：100%						

「元気発進！子どもプラン（第3次計画）」主な取り組みの評価一覧

■ 施策（15）子どもの安全を守る環境整備

				【Plan】計画	【Do】実施						【Check】評価	【Action】改善	決算	担当課					
施策番号	柱	取り組みNo.	取り組み名	事業概要	R2年度の取り組み計画	R2年度の主な実績	活動指標					評価	評価の理由(分析)	課題とそれを踏まえた今後の方向性	予算事務事業名	※太字が評価を記載した課			
							区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度						R6年度		
15	2	205	大規模災害に備えた備蓄整備	大規模災害に備えるため、想定避難者の食糧及び飲料水等に加え、乳幼児等の要配慮者に配慮した物資を備蓄している。また、災害発生時の避難所の開設では、授乳等子育て家庭に配慮したスペースを確保するなどの整備を図っていく。	パーテーション整備 (授乳等子育て家庭に配慮したスペース確保のため)	予定避難所や備蓄倉庫へのパーテーション整備	パーテーション備蓄台数(台)	半年度目標	530台 備蓄	585台 備蓄	640台 備蓄	695台 備蓄	747台 備蓄	順調①	・目標数のパーテーションを購入し、順次配置することができている。		大規模災害に備えた備蓄整備事業の一部	危機管理室・危機管理課	
							【現状値】	半年度実績	494台 (R元年度)	608台									
							【目標】	達成率	747台	115%									
								計画目標達成率		81%									
15	2	206	妊産婦・乳児避難所の設置	大雨等の災害時に通常の予定避難所で受け入れ困難な妊産婦等を受け入れるため、市内東西の子育て支援施設（東部：子育てふれあい交流プラザ、西部：子どもの館）に「妊産婦・乳児避難所」を必要に応じて開設する。	災害時の妊産婦・乳児のための二次的避難所として開設	9月6日の台風10号の際に、子育てふれあい交流プラザと子どもの館を開設した。	適切な開設	半年度目標	適切な開設	適切な開設	適切な開設	適切な開設	適切な開設	順調①	予定避難所で避難生活を続けることが困難な妊産婦や乳児のために、市内2ヶ所の子育て支援施設に開設した。	引き続き、適切に開設していく。	(予算なし)	子ども家庭局・総務企画課	
							【現状値】	半年度実績	開設										
							【目標】	達成率	適切な開設	100%									
								計画目標達成率		100%									